

令和7年 5月16日(金)

あさひの日だまり

NO.6

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～運動会へ向けてスタートが切られました～

楽しい運動会を目指して



今日(15日木曜日)も朝の活動は運動会へ向けての集会でした。今日の活動は準備体操の方法についてでした。全校放送で放送の指示が流れると、思い思いに子どもたちはグラウンドへ走っていきました。みんながグラウンドに集合すると体育係の向山先生が準備体操としてのラジオ体操の方法についてお話をしてくれました。

ラジオ体操は準備体操とは言っても全身運動であること。かかとを地面につけずにやるのが大切であること。本気でやると汗が出るほどの運動量であること。そういったお話をして下さいました。

私はいつも、どういう心持で物事に取り組んでいるか

がとても大切だと思っています。どうせやるなら楽しんでやりたいです。「やらされている」という思いをできるだけ無くしてあげたいと思います。そのためには何のためにどうしてそれをやる必要があるのかを自分なりに納得することが大切だと思っています。そういう意味からも担当の向山先生のお話はとてもありがたいなと思いました。

活動を重ねるごとに子どもたちの気持ちが「運動会楽しみだな!」ってなっていってくれることを心から願っています。一人の男の子が「運動会の日休もうかな」と私の前で元気がなくつぶやきました。「そうか運動会嫌なのか?」と尋ねると「うん」と答えが返ってきました。運動会当日までにこの子の表情が少しずつでも明るくなっていくことを心から願ってやみません。そして当日は自然と笑顔があふれるような時間があつたならこんなに素敵なことはありません。

保護者の皆様、地域の皆様、運動会は今月の31日です。ご来校いただきまして子どもたちの頑張りに声援を送っていただけますようお願い申し上げます。

～初めての引き渡し訓練が行われました～

保護者の皆様のご協力に感謝いたします

14日の水曜日に児童引き渡し訓練を行いました。想定は豪雨のために「大雨特別警報」が発令されたということにしました。ニュースで「温暖化の影響で豪雨の危険が高まっている」とか「線状降水帯が発生した」とかという言葉をよく聞くようになりました。自分の実感として、以前よりも豪雨が増えたかどうかということはわかりませんが、危険性が高まっていることは間違えないのだと思います。そういう状況をふまえ昨年度末に職員の中から「年度のできるだけ早い段階で引き渡し訓練をやっておくべきだ」という意見が出されました。そこで今回訓練を行うこととしました。ご家族の皆様には本当にお世話になりました。感謝申し上げます。

職員の中で心配されたのは、主として次の2点でした。それは車がロータリーからあふれ道路をふさぐ状況にならないだろうか。オクレンジャーが未読で保護者の来校が遅くなる場合の対応をど

お家の方と下校の様子



うしたらよいか。ということでした。

訓練は2時の教頭先生のオクレンジャーでの家庭連絡から始まりました。「校長先生なかなか既読になりません。どうしましょう」という悲痛な叫びが聞こえてきました。「少しづつ既読になることを祈りましょう」と声をかけて、2時30分に私も旗をもって3時からの保護者の皆さんの来校に備えました。

「先生こんなに早く来てしまいましたけどしたらよいでしょうか」「大丈夫ですよ速くても大丈夫ですので教室へ行って下さい」という感じで少し早めに来られた何台かの車の方とお話をしました。

ロータリーが最も混んできたのは3時を少し回ったころでした。次から次に車が入ってきました。

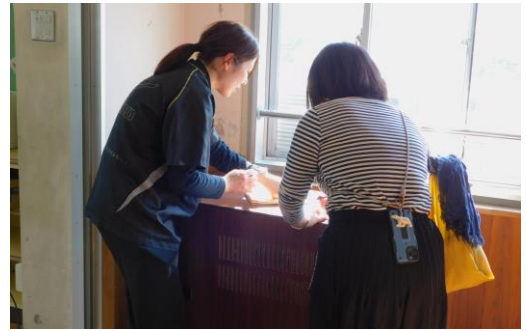
あらかじめ想定していたように通常の駐車と縦列の駐車を併用しながら調整していきました。「まずいぞこれは、ロータリーがいっぱいになるぞ」と思いながら満車状態の中空きスペースを見つけて車を誘導しました。各教室の子どもたちの様子や校内の保護者の皆さんの様子を見に行きたいと思っていたのですが、とてもそんな余裕はありませんでした。やがて次第にポツンポツンと空きスペースが目立つようになってきてほっと一安心をしたのは30分ほどたったあたりからでした。

そして、4時を少し回ったあたりだと思います。全校放送で教頭先生から「すべての引き渡しが完了しました」という連絡が入りました。思わず心の中で「やったー」と一人達成感を感じていました。そして、ひとまず事故がなくてよかったと思いました。

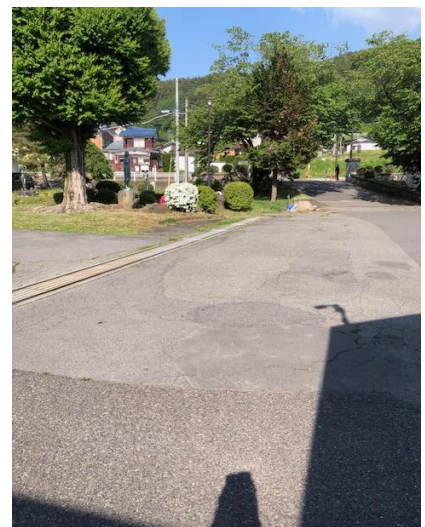
今回の引き渡し訓練を通じていくつかのを感じたり気づいたりしました。

- ・おじいちゃんやおばあちゃんの支援によって引き渡しは成立するという事がわかりました。
- ・この子とこの子が姉弟だったんだという新しい発見がありました。
- ・参観日でお会いしている保護者の方の顔とお子さんの顔が初めて一致した場面がいくつかありました。
- ・「お仕事の時間に申し訳ございません」と声をおかけすると「いえとんでもありません」「先生方こそ大変ですね」と声をかけていただきました。こういう保護者の皆さんに支えられて学校の色々なことが実現できているのだという心からの感謝の気持ちでいっぱいになりました。
- ・保護者の皆様と一緒に帰る子どもたちの表情が本当に嬉しそうで安心感にあふれていることを感じました。その姿を目にして「やっぱりお家の人には到底かなわない」と思いました。子どもとお家の方との関係の深さを改めて実感する瞬間でした。
- ・今回の訓練でほぼ計画通りに引き渡しができそうということがわかりました。もしもの場合にはご家族にも今回の要領でご来校いただければよいように思います。
- ・オクレンジャーが未読で学校から電話をさせていただいた家庭が27件でした。お仕事の最中で確認できない場合も当然あります。その場合の連絡方法をどうしたらよいか考えなくてははいけません。基本的には未読のご家庭には学校からお電話を入れさせていただきますが、引き渡しが想定されるのは、大雨・地震・落雷（落雷の場合はおさまるまで学校待機の可能性もあります）等です。引き渡しが想定される場合には携帯電話を所持していただきオクレンジャーの確認ができるようにしておいいただくことがよいように思います。

不測の事態が発生しないことを願っておりますが、何が起きるかはわかりません。子どもたちの安心安全を第一に考えなくてははいけないと思います。もしもの場合はどうぞよろしくお願いいたします。



引き渡しカードを書いていた様子



4時頃に引き渡しが終わリロータリーの車がすべてなくなりました